

東京佐井同郷会「年に一度の再会を楽しむ」

11月22日(土) 東京飯田橋の「レストラン・トリノ」で東京佐井同郷会(金澤幹夫会長)が開催されました。村から村長ほか3名が出席したほか、東京青森県人会の塩谷事務局長、下北郡アピガールの島野温枝さんも参加されました。島野さんは都内にて、青森県内の市外局番「017」と書かれたデザインTシャツを販売するなどをして、青森県のPR活動をしています。

会場では、漁協の加工品が販売され、あっという間の完売に残念がる会員も!

また、竹本純三さんからは出席者全員に手づくりの「横笛」がプレゼントされました。50人あまりの参加者は時間が過ぎるのも忘れ、故郷の話題に花を咲かせるなど、年に一度の再会を楽しみました。



そば作りを初体験

11月26日(水) 佐井村保育所の児童を対象としたそば作りが行われました。そば作りの講師として川岸一彦さんを招き、現在の佐井村保育所にいる児童にとって初めての体験となりました。

初めてそば作りの様子を見た子どもたちは、そば粉の色の変化などに驚きながらも楽しい雰囲気の中、作業は進み、作りたてのそばはお昼においしくいただきました。



説明を聞いている子どもたち



そば作り見学中

青森県大会県教育長賞受賞おめでとう!

第34回全国中学校人権作文コンテスト青森県大会において、福浦中学校1年田中亜依さんが県教育長賞を受賞し、12月7日(日) 青森市ワラッセで表彰式・発表会が行われました。



そば実食